

(7) 糖尿病

【目標値達成の状況】

達成状況	指標定義	指 標	計画策定時 (H12)	現状値 (H17)	目標値	
					(県)	(国)
	行動	定期健康診断等糖尿病に関する健康診断受診率	69.6%	70.7%	80%以上	6,860万人
	行動	糖尿病検診における異常所見者の事後指導受診率(成人男性)	80.5%	84.8%	100%	100%
	行動	糖尿病検診における異常所見者の事後指導受診率(成人女性)	71.0%	84.3%	100%	100%
×	健康	糖尿病または境界型といわれる人の割合の増加への歯止め	16.3%	19.7%	16.3%以下	1,000万人
	行動	糖尿病有病者で治療を継続している人の割合	33.5%	37.8%	100%	100%
×	健康	糖尿病性腎症を有する人の割合の増加への歯止め	0.92%	1.1%	0.92%以下	-
×	健康	糖尿病性網膜症を有する人の割合の増加への歯止め	0.75%	1.1%	0.75%以下	-
再 掲						
	健康	標準体重の120%を上回る中学1年生の割合	10.2%	8.6%	7%以下	7%以下
×	健康	20～60歳代男性で肥満の人の割合	29.4%	30.7%	15%以下	15%以下
	健康	40～60歳代女性で肥満の人の割合	24.4%	18.1%	20%以下	20%以下
	行動	1日最低1食,きちんとした食事を,家族等2人以上で楽しく,30分以上かけてとる人の割合(成人)	66.9%	67.4%	80%以上	70%以上
×	行動	日常生活における歩数(成人男性)	7,691歩	6,650歩	8,700歩以上	9,200歩以上
×	行動	日常生活における歩数(成人女性)	7,635歩	6,757歩	8,700歩以上	8,300歩以上
	行動	日常生活における歩数(70歳以上男性)	5,540歩	5,910歩	6,800歩以上	6,700歩以上
×	行動	日常生活における歩数(70歳以上女性)	4,928歩	4,688歩	6,200歩以上	5,900歩以上
	行動	1日30分以上の運動を,週2回以上実施し,1年以上持続している成人男性	19.9%	20.5%	30%以上	39%以上
	行動	1日30分以上の運動を,週2回以上実施し,1年以上持続している成人女性	16.4%	19.4%	27%以上	35%以上

【指標の動向】

(数字は指標数)

達成()	(計画策定時+目標値)/2以上の伸び()	(計画策定時+目標値)/2未満の伸び()	悪化(x)	不明	指標合計数
1(0)	1(0)	8(4)	7(3)	0(0)	17(7)

()内は,再掲を含まない指標数

指標は17項目ですが,そのうち既に目標が達成された指標及び順調な改善がみられる指標が

2項目，若干改善された指標が8項目，悪化した指標が7項目です。

1) 糖尿病または境界型といわれる人の割合の増加への歯止め(×)

糖尿病または境界型といわれる人の割合が16.3%が19.7%と増加しています。

<p>糖尿病の状況 糖尿病の要指導・要医療と判定される者が増加している。また，40歳以降加齢とともに増加する。(基本健康診査結果)</p> <p>医師に要指導，要医療と判定された者の割合は，男性は増加傾向にあり，2割以上となり，女性は微増し，1割強を占めています(図31)。また，平成16年度の基本健康診査によると，医師に要指導，要医療と判定された者は，40歳代で6.3%，50歳代は11.9%，60歳代は16.1%と，加齢に伴い増加しています(図33)。</p> <p>糖尿病の医療機関受診者が増加している(県国民健康保険診療報酬)</p> <p>平成12年と17年の5月診療分の糖尿病による受診件数は，19,589件から27,571件と4割増加しています(図34)。</p>
--

2) 糖尿病検診における異常所見者の事後指導受診率(成人男女)(○)

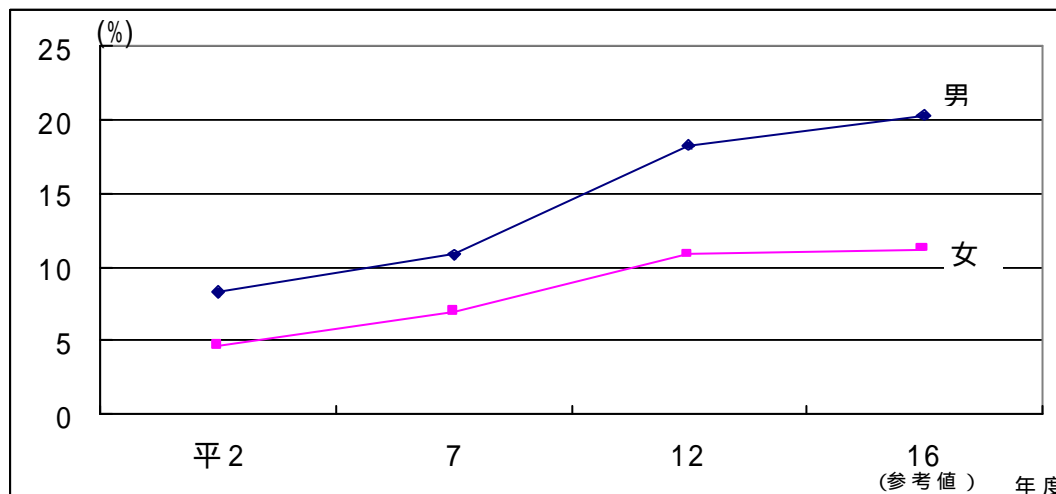
糖尿病の異常所見者の事後指導受診率は，成人男女ともに増加していますが，男性の80.5%が84.8%と若干の増加であったのに比べて，女性の場合71.0%が84.3%と増加の幅が大きい状況にあります。

【関係機関・団体の取組】

- ・市町村は，糖尿病予防教室や糖尿病教室を開催し，生活習慣の改善や合併症予防に努めているところです。
- ・鹿児島県医師会は，生活習慣病予防相談室や親子健康教室などを開催し，肥満解消や小児生活習慣病を予防する取組を行っています。
- ・鹿児島県栄養士会は，鹿児島市医師会病院における糖尿病外来栄養指導や小児糖尿病サマーキャンプなどを実施しています。

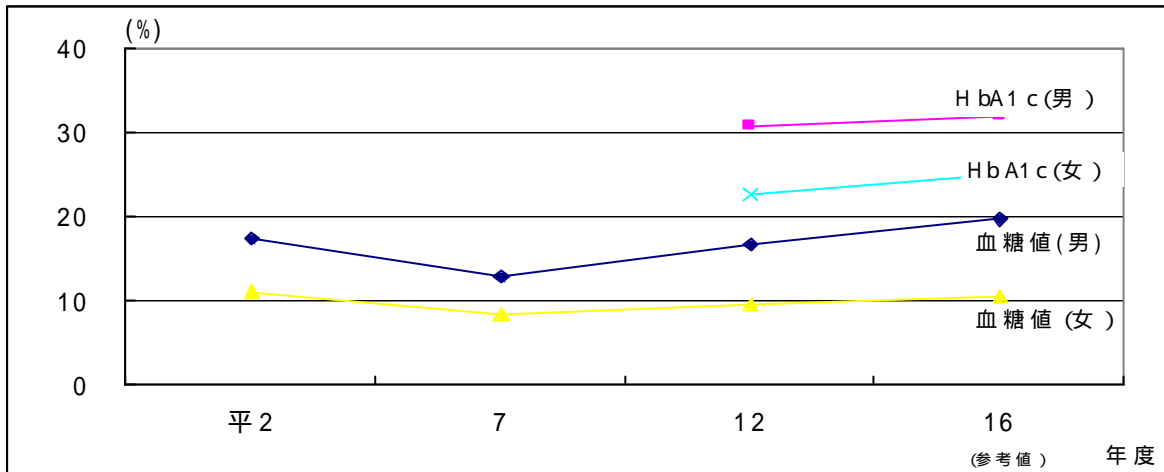
【関係図表】

図31 糖尿病の要指導・要医療者の割合 基本健康診査結果



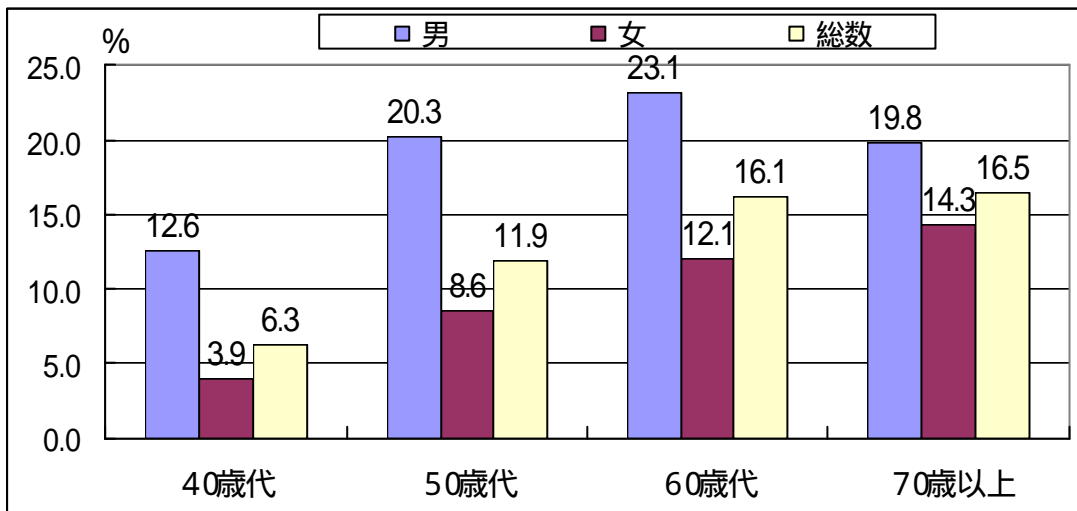
資料：鹿児島県保健福祉部「鹿児島県の生活習慣病」

図32 血糖値検査の異常率の推移 基本健康診査結果



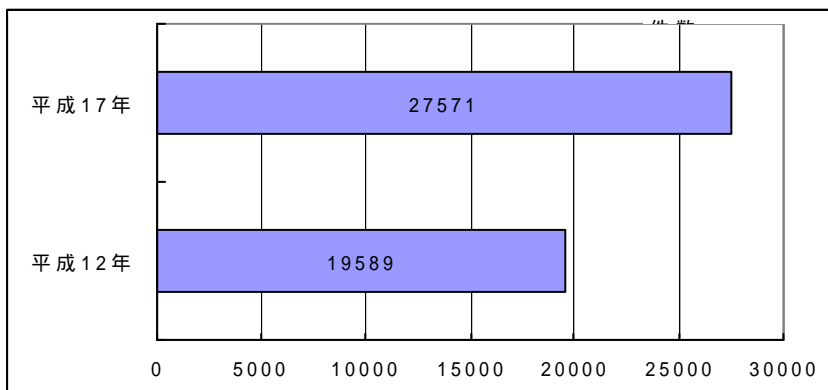
平成 2 ~ 12 年度までは国勢調査年，その以降は隔年を計上 資料：鹿児島県保健福祉部「鹿児島県の生活習慣病」

図33 糖尿病の要指導・要医療者の年代別状況 平成16年度基本健康診査



資料：鹿児島県保健福祉部「鹿児島県の生活習慣病」

図34 糖尿病の医療機関受診者数の推移 (5月診療分)



資料：鹿児島県国民健康保険団体連合会「疾病分類別統計表」

課題

糖尿病の原因となる肥満が、20～60代の男性で増加していることから、その年代の男性を意識した対策が必要です。

肥満対策として、食生活の改善対策に加え、運動不足の解消を目指した有効な対策が必要です。

糖尿病またはその境界型といわれる人は増加していることから、糖尿病の早期発見・早期対応（二次予防）と重症化の予防のため、健康診断受診率及び事後指導受診率の向上を図る必要があります。

合併症予防には、治療継続の環境整備や治療中断者の早期発見、介入に関する仕組み等が必要です。

今後の取組の方向性

1) 県民の行動

糖尿病やメタボリックシンドロームに関する正しい知識を習得する

日常生活の中で、意識的に歩いたり、階段を使ったりするなど積極的に身体を動かす
自分に見合った食事量及び栄養の摂取内容を知り、食事バランスガイドを活用するなどしてそれを守る

体重の測定を習慣化し、自分の適正体重を維持する

腹囲の測定を習慣化し、内臓脂肪による肥満を予防する

糖尿病を放置せず、治療を継続する

定期的に健康診査を受診する

2) 関係機関・団体の取組

職域において、健康診査の受診率の向上を図り、糖尿病有病者及びハイリスク者を早期発見し、保健指導を強化する

保健・医療機関の連携を強化し、糖尿病に関する治療や生活習慣に関する相談・指導体制を整備する

糖尿病の治療脱落者予防のために、医療機関と市町村や保険者が連携を取る体制を整備する

学校等教育機関において、小児期からの肥満防止など生活習慣に関する健康教育を推進する

糖尿病予防策や治療に関する情報提供を積極的に行う

メタボリックシンドロームの概念を導入した啓発に努める

メタボリックシンドロームの重症化を防止する対策を講じる

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群を把握する

3) 今後重点的に取り組む課題

**健診による早期発見
メタボリックシンドロームの概念の普及**